

アンチドーピングガイド

本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。競技者はエントリーした時点で、①ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意、②ドーピング検査手続き、注意事項などを理解、したものとみなされます。また、上位入賞者だけでなく、参加したすべての競技者が検査対象となる可能性があります。

競技者は、大会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。

アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。

*治療のために禁止物質・禁止方法を使用する場合

「治療使用特例（TUE）」申請を行い、審査で承認されれば使用できます。

申請書の作成や承認には時間がかかりますので、何らかの病気やけがで病院などから継続して薬を処方されている競技者は早めに手続きをしてください。大会直前にどうしても使用する場合は、

「診断名、使用薬品名、使用量・方法、医師の氏名」を確認し控えをとっておいてください。

TUE申請書は ●大会の30日前までに提出すること

●薬剤を処方した医師により、「英語表記」してもらうこと

●アンチ・ドーピングやTUE申請に関しては <http://www.realchampion.jp/>で最新の情報を取得してください。

2018年TUEの事前申請が必要な大会は以下の通り（これ以外の大会においてもドーピング検査は実施されます）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ① 第18回アジア競技大会日本代表選手予選会 | ④ 第73回国民体育大会（福井県） |
| ② 第25回全日本シングルス選手権大会 | ⑤ 第64回全日本インドア選手権大会 |
| ③ 第73回天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会 | |

*検査対象になったら

ドーピング検査対象となった通告を受けたら、なるべく速やかにドーピングコントロールルームに移動してください。その際、本人確認のために身分証明書（免許証、学生証など、顔写真付き）が必要ですので、持参してください。通告後はシャペロン（通告者）と行動してください。

*未成年者（20歳未満）について

親権者は下記サイトにて内容を理解し、未成年競技者へ指導した上で、検査の対象となった場合、検査を受けることに同意する「未成年競技者 親権者 同意書」を作成してください。

同意書は、①エントリー表と一緒に日本ソフトテニス連盟に送付し、②そのコピーを大会時に携行してください。（すでに提出済みの選手は携行不要です）

●同意書書式は日本ソフトテニス連盟のホームページからダウンロードできます

http://www.jsta.or.jp/index/anti_doping